

過ごしやすい季節を迎える秋の屋久島

## 憧れの屋久島・縄文杉を目指す旅

## 1日目 溫暖で過ごしやすい屋久島へ

11月の屋久島の最高気温は20°C~24°C、最低気温は15°C~19°C、過ごしやすい季節となっています。乗り継ぎ便で屋久島に入り、到着後は縄文杉を含む屋久杉や、島の人々の生活と森の関わりの歴史などを紹介している屋久杉自然館を訪れます。途中ガイド事務所で縄文杉登山についてオリエンテーションを受け、装備を受け取ります。屋久島グリーンホテルではチェックイン後、夕食を頂き、明朝の出発に備えます。



## 2~3日目 憧れの縄文杉とテント泊

縄文杉の旅は、通常日帰りで往復する22キロを、私達は2日に分けガイドの説明を聞きながらグループ毎に進みます。トロッコ軌道上とウィルソン株周辺では、屋久杉伐採の歴史と後の世代交代によって再生し続ける森を知ることができます。そして、何千もの時を生き続ける巨木の森を抜け夕刻、縄文杉に到着します。夜はガイドが準備するテントで一泊します。また、ガイドが作る手料理もお楽しみください。到着から翌朝まで日帰りでは体験できない縄文杉との贊沢な時間を過ごします。翌朝縄文杉を出発し同じ道を戻り、夕刻、贊沢なまでのとろみ感の天然温泉が、大海原を一望できる大浴場と露天風呂にたたえられた、JRホテル屋久島に入ります。温泉と美味しい夕食でトレッキングの疲れを癒してください。



この世にただ一膳の屋久杉箸

## 4日目 白谷雲水峡へ

最終日は「もののけの森」で一躍有名になった白谷雲水峡(入口からさつき吊り橋まで)を訪ねます。ガイドの案内で整備された遊歩道を歩きダイナミックな渓谷美、屋久杉、照葉樹を楽しめます。お昼は地元の食材をふんだんに使ったお料理をいただきます。最後に樹齢千年の屋久杉の端材を用いたお箸作り体験で、ご自分が作る一膳のお箸を完成させたら空港へ向かいます。

## 注意点

- 約8キロはトロッコ軌道上を歩きますが残り3キロは標高900mから1300mまでの登山です。
- 装備をレンタルしない方もしっかりとした登山用具での参加をお願いいたします

★縄文杉往復トレッキングの二日分のリュックサックの重さはお一人分約7~9kgくらいです

★途中、体調の変化やグループで行動するためのタイムリミットなどの理由で引き返す場合はガイドが付き添い下山することもあります。(ガイドの指示に従っていただきます)

## このツアーのポイント

- ★屋久島出身で日本山岳ガイド・屋久島公認ガイドの満園順平氏が同行
- ★通常日帰りで22キロ往復歩くコースを、ゆっくりと二日かけて往復します
- ★参加者の構成を考慮し少人数のグループ分けをし、それぞれのグループにガイドが付きます。
- ★登山に必要な装備をすべてレンタルできます。
- ★1泊に必要なテント、山中での食事はガイドが持ちます。
- ★往復のリュックをお持ちするポーター利用のご用意があります(有料)

## 旅行期間

2020年 11月8日(日)~11日(水)

## 旅行代金

2名様1室利用 (お一人様)	205,000円	募集人員 12名様
1名様1室利用	219,000円	(最少催行人員8名様)

## 利用予定ホテル

【1日目】屋久島グリーンホテル(和室又は洋室を用意しておりますが部屋指定はできません)  
【2日目】テント泊(テントはできるだけグループ毎余裕をもって利用いたします)  
【3日目】JRホテル屋久島(和洋室利用です)

- 羽田空港(10:15発)→福岡空港(12:10着/13:10発)→屋久島14:15着→屋久杉自然館(見学)→ホテル到着→レンタル品受け取り→入浴→夕食→早めに就寝  
食事:朝×・昼○(お弁当)・夕○【屋久島グリーンホテル泊】
- 早朝ホテル出発→専門ガイドの案内で1泊2日の縄文杉トレッキング往路  
食事:朝○(お弁当)・昼○(お弁当)・夕○(キャンプ食)【テント泊】
- 早朝ホテル出発→専門ガイドの案内で1泊2日の縄文杉トレッキング復路  
食事:朝○(キャンプ食)・昼○(キャンプ食)・夕○【JRホテル屋久島泊】
- ホテル出発→千尋の滝→白谷雲水峡→屋久島料理(昼食)→杉の舎(屋久杉箸作り体験)  
→屋久島(17:10発)→鹿児島空港(17:45着/18:35発)→羽田空港(20:10着)  
食事:朝○・昼○・夕○(お弁当)

■添乗員/同行します ■ガイド/同行します。 ■食事/朝食3回・昼食4回・夕食4回(食事内容はホテル食、お弁当、ガイドの手料理です。) ■交通機関/航空機・貸切バス(予定運行会社/まつばんだ交通同等) ※相部屋希望はお受けしておりません。



樹齢三千年以上、屋久杉を代表する孤高の巨樹「縄文杉」